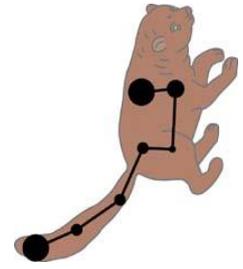


ポラリス通信



第48号 令和5年10月31日

萱田南小学校 5年生 ミシンでソーイングを終えて

10月31日(火)萱田南小学校では、萱田ポラリスの方々にご協力いただき、1学期と同様に5年生の家庭科学習を行いました。子どもたちは、ミシンの扱い方にも徐々に慣れていき、技能を高め充実した学習にすることができました。



【子どもたちの主な感想】

- 糸が絡まった時にポラリスの先生がほどいてくれたので、スムーズにミシンを使うことができました。
- ポラリスの先生からアドバイスをもらったので、できなかったことができるようになりました。
- ミシンの使い方についてとてもやさしく教えてもらったので、覚えることができました。
- ミシンの使い方がよくわからなかったけど、ていねいに教えてもらったので得意になりました。
- アイロンの上手な使い方を教えてもらったので、布をしっかりと平らにすることができました。



【ボランティアのみなさんの感想】

- 返し縫を習得できていない子どもも多くいたが、教えると飲み込みが早かった。
- 初めは、早い子と遅い子との差が大きかったが、集中して教えると差がどんどん縮まり、自信が持てた。
- 子どもたちの「楽しかった」の言葉が嬉しかった。
- 少しのサポートで、子どもたちがどんどん自信をもって先に進み、自分でできる楽しさ、学習意欲が増していく様子を間近で見ることができ、支援者冥利に尽きる。

【最後に、学年の先生方からのコメントなど】

- 児童それぞれに進度に差が出始めた時期で、遅れている児童はエプロンを完成できるか不安だったようです。今回ポラリスの先生方に教えてもらって、たくさん進めることができたので、安心したと言っていました。上手に縫えるコツやアイロンのかけ方を丁寧に教えてもらったという児童もたくさんいて、担任一人ではできない細やかな指導がとてもありがたかったです。
- ポラリスのみなさんのていねいな支援のおかげで、子どもたちがみるみる自信をつけていきました。子どもたちの「できた！」という気持ちが表情に表れる素敵な学習になりました。